

有識者からの発表

「瀬戸内海の観光資源」

広島大学大学院総合科学研究科 准教授 フンク・カロリン

今後の瀬戸内海の水環境の在り方懇談会資料

【発表者：広島大学大学院総合科学研究科 准教授 フンク・カロリン】

項 目	内 容
1. 発表テーマ	瀬戸内海の観光資源
2. 課題	過去の工業開発と都市化による自然海岸の損失 自由にアクセスできる海岸が少ない ゴミ処理、下水の不十分な整備 景観の総合的な管理制度がない 港町の町並みの破壊 合併による決定権の損失 定期路線の減少 海辺における観光施設の少なさ
3. 対応（提案）	環境、景観、町並みの保存と再生 建物と土地の再利用 合併と指定管理制度の影響を検討した観光戦略 船を中心にアクセス改善、アクセス情報を提供 海や自然を楽しむための工夫 宿泊施設、飲食店の改善 英語をはじめ、外国語による情報提供
4. 今後の瀬戸内海の方 向性について	水環境についての関心を引き出すために、観光やマリン・レジャー、レクリエーション活動を推進する。しかし、新しい開発よりも、建物・土地の再利用を優先し、自然・人文観光資源の保存に勤める。また、町並みについての解説、カヤックなどマリン・レジャーの教室やガイド・ツアー、自然保護観察会など、地域内の自然と文化を解釈、案内する人材の育成に力を入れる。「船」を公共交通手段、観光資源、または海に近づけるための手段として推進する。

* 上記の内容で各分野における内容を説明していただき、懇談会委員と意見交換を行います。

瀬戸内海の観光資源

広島大学総合科学研究科准教授
フンク・カロリン Dr. Carolin Funck

目次

1. 瀬戸内海の観光資源について
2. 観光地としての発展
3. 瀬戸内海の観光資源の課題
4. 瀬戸内海の観光資源の今後の在り方について

1. 観光資源について





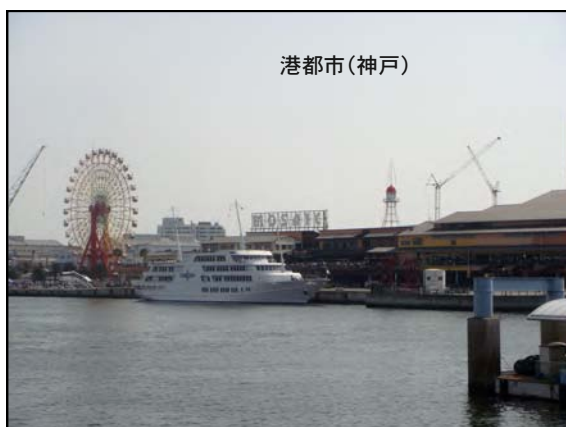
見晴らし



海(斎島)



港町(鞆の浦)



港都市(神戸)



文化財(宮島)

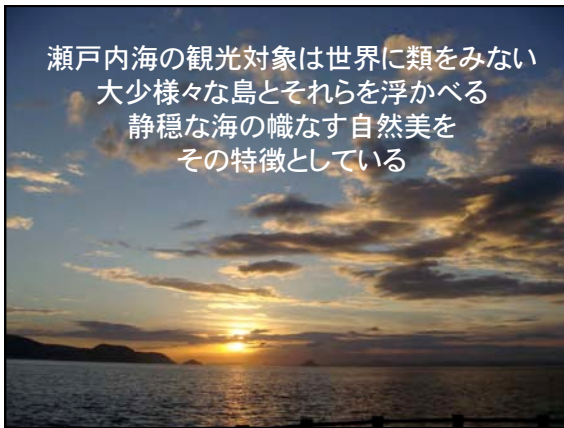


漁業とその体験(白石)

芸術
(直島)



瀬戸内海の観光対象は世界に類をみない
大少様々な島とそれらを浮かべる
静穏な海の熾なす自然美を
その特徴としている



2. 観光地としての発展



沿岸域観光は都市形成に影響
するほど発達していない

1987年のリゾート法:
観光立地につながらず



1985-1999年:瀬戸内海
の観光は本四架橋に依存

都道府県別宿泊数(2007)

日本人と外国人

- 日本人:北海道、関西、福岡、首都圏の周辺



- 外国人:北海道、首都圏から関西まで、九州
- 瀬戸内海周辺:少ない



国土交通省2007

国際観光



中四国への外国人旅行者:
都道府県別訪問順位(JNTO 2006)

	韓国	台湾	中国	米国
岡山	29	31	33	27
香川	36	44	46	30
広島	21	26	15	9
愛媛	34	38	46	36

瀬戸内重要観光地の訪問率:
神戸・有馬6.5%, 姫路1.6%,
淡路島0.1%,
広島市3.6%, 宮島1.3%,
松山・道後0.3%
(2008年; JNTO 2009)

外国人に「発見された」瀬戸内海

- 朝鮮通信使1711:
「日東第一形勝」
- Thomas Cook 1872:
「すべての湖のもっとも良いところを集めて一つにしたほど美しく」
- Fraser 1889:
"It seems to me that I have been taken to the heart of the country, have seen the very essence of its beauty and remoteness"

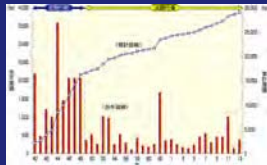


Chamberlain 1913:
"The smoothness of the water and the continuously varying and picturesque scenery are an unfailing source of pleasure and comfort"

3.観光資源の課題:海岸



立ち入り不可能海岸:23%
コンクリート海岸:45%
準自然海岸:11%
自然海岸:21%



島嶼部は除く;瀬戸内の環境を守る連絡会1998

既存の産業構造:工業開発の 「負の遺産」



汚染とゴミ



合併による決定権の損失



- ・瀬戸内海周辺の県は積極的に合併を推進
- ・離島、歴史的港町が工業都市に合併される場合が多い
- ・町・村で運営されていた観光施設は指定管理へ→閉鎖も多い

観光による影響は？

観光:

- ・別荘開発などによる自然景観の破壊
- ・夏、週末に集中した需要による過剰負担(水、下水、ごみなど)
- ・夏、週末に集中した需要による交通量の増加
- ・ブーム現象
- ・施設の老化と廃止

マリナー・レジャー:

- ・夏、週末に集中した需要による交通量の増加
- ・燃料による汚染
- ・エンジンによる騒音
- ・漁資源への影響(釣り)
- ・水面利用の競争

外国人から見た瀬戸内海: 瀬戸内を一言で言い表すと

- ・瀬戸内海は土地に深く根ざした文化と息をのむような景色のある、知られていない、歴史豊かな宝である。(女性、USA)
- ・美しく、リラックスできる地域(女性、ニュージーランド)
- ・瀬戸内海で普通ではないと思ったところは、全体にばらまいたような、様々な大きさの、たくさんの島である。ちょっと迷宮みたいで、私は好きだ。(女性、ルーマニア)
- ・雰囲気がある; 景色がいい; 美しい(男性、イギリス)

* 著者が2005/6に実施したモニターツアーの結果より

+ 景色 -

- ・ 頂上からの眺めは本当に息をのむような一視界全体に広がるパラダイスだった
- ・ 印象的だったことは、島にまつわる歴史を知ったことだ
- ・ 気持ちの良い高速クルーズ艇に乗って島の間をジグザグしていたときに見た景色それ自体が、一番印象的だった



- ・ 見ていてとても不快な工場の眺め
- ・ 海が、特に埠頭と海岸がごみで汚されていたのに気づいた
- ・ 島全体を取り巻く、広範囲にわたる単調で芸術性のないコンクリートの壁
- ・ 島の自然の美しさが海岸を守るデトラボッドによって「傷つけられて」いたことと、丘の斜面がところによって掘り崩されていたこと

町並み 1 : 鞆ノ浦



- + 鞆ノ浦の引きつけられるような魅力は本当に楽しかった; 他の多くの観光化されてしまった地域よりずっと素朴で魅力的だと感じた。
- 古くて趣のある港の様子を見て、自治体政府がこの将来像をどのように描いているかを聞いて、心乱された。港は間違いなくとても素敵だ、しかし将来に近代的な橋がそびえ立つとなると、悲しいことに魅力を大きく壊してしまうに違いない。

町並み 2 : 御手洗、室津



- + その古い町はとても気に入った。一ヶ所でこんなにたくさんの本物の古い木造住宅を見たのは、日本ではこれが数少ない経験の一つだ。(御手洗)
- 港の雁木がコンクリートの構造物に変わったことを聞いて残念に思った。ぜひとも復元して何百年前かと同じように両側から博物館を訪ねられるようにしてほしい。(室津)

交通



- ・新幹線: 便利 = 高い
- ・バス: わかりにくい、本数が少ない
- ・フェリー(長距離): 面白い、安い、でも乗り場が分かりにくい
- ・フェリー(短距離): 「船の中は日本よりも第三世界にみえた」
- ・クルーズフェリー: 「すばらしい」

4. 観光資源の今後の在り方について 地域文化



自転車を楽しむ:しまなみ海道

しかし:
しまなみ海道自転車道沿い:
写真114枚のうち
自然・海のみは21枚



調査: 2km毎に前・後ろ・右・左の写真撮影

海を楽しむ



瀬戸内海でのプレジャーボート



プレジャー ボート	2001	2009
大阪	23181	13665
兵庫	23660	16681
岡山	18801	13814
広島	30432	22840
山口	18143	13420
香川	12572	8838
愛媛	19099	14362

- ・高級マリーナは利用者が少ない
- ・ボートパークなど安い施設は一杯
- ・関東から瀬戸内海のマリーナを利用し、飛行機でアクセス

海のネットワークの拠点： 海の駅



- ・陸と海をつなぐ場所(全国121か所、2009年現在)
- ・クルージングとマリレジャーの拠点:短期係留
- ・海の景色を楽しめる場所
- ・海に近づける場所

定期路線の減少



- 1989年から: 全国で船舶旅客が減少
 - 旅客運送(中四間):
1998: 28,388千人
2007: 20,796千人;
自動車航送: 5,458千台
→ 3,314千台
 - 航路の廃止:
 - 福山-多度津 2008年8月
 - 竹原-波方 2009年4月
 - 阿賀-堀江 2009年6月
- 高速道路無料化で全減?

持続可能な観光とは

「すべての階級の人々の多様な要求を、充実した観光施設と安定した自然環境において、そして地元住民の利害を配慮しながら最適に満足させる」

持続可能な観光とは

- ・ 資源や自然環境への配慮
- ・ 地元住民への配慮
- ・ 観光客の満足

瀬戸内海における持続可能な観光の課題：

- 環境、景観、町並みの保存と再生
- 建物と土地の再利用
- 合併と指定管理制度の影響を検討した観光戦略
- 船を中心にアクセス改善、アクセス情報を提供
- 海や自然を楽しむための工夫
- 海辺の宿泊施設、飲食店の改善
- 英語をはじめ、外国語による情報提供

